

令和7年度 第1回白井市地域公共交通活性化協議会

日 時：令和7年7月14日（月） 午後2時から午後4時

場 所：白井市役所本庁舎2階 災害対策室1、2、3

出席委員：嶋田善康会長、板谷和也副会長、窪田智之委員、福本健二委員、大橋淳一委員、
島ノ江啓一委員、成田斉委員、倉澤裕司委員、前原康之委員、高山弘美委員、
今井庄一郎委員、山本香里委員、菅井規委員、佐藤雅彦委員（代理 川戸氏）、
大出正弘委員（代理 伊藤氏）、宇田川清美委員、石田典子委員、奥村敏直委員、
小島健太郎委員、山本高寿委員
20名（うち代理出席2名）

欠席委員：野口和雄委員、徳永敬委員、船本彩花委員、村越貴之委員 4名

事務局：鈴木都市建設部長、武藤都市計画課長、吉川副主幹、木山主事
ランドブレイン株式会社（担当者2名）

傍聴者：9名

1 開会

[事務局報告事項]

- 出席委員は委員24名中、18名（代理出席2名除く）であり、白井市附属機関条例第6条第2項の規定による会議開催要件（委員の過半数が出席）を満たしているため、会議は成立しています。
- 本会議は、白井市審議会等の会議の公開に関する指針により、原則公開とするとともに、会議録等含め公開を予定しております。

2 会長選出

【事務局】

- ・ 白井市附属機関条例第3条により、会長は、当該附属機関の事務を総理し、また当該附属機関を代表するものとされ、その決定は委員の互選により行うことと定められております。
- ・ この度、これまで会長であった山下委員の辞職に伴いまして、会長が不在となりました。
- ・ 同条例第3条第3項により、会長が欠けたときは、副会長がその職務を代理することと定められておりますので、会長の決定までの間、板谷副会長に議長をお願いいたします。

【副会長】

- ・ 会長が決定するまで、議長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。
- ・ 早速ですが、事務局から会長職についての説明がありましたが、どなたか、会長に立候補される方、あるいは御推薦をされる方はいらっしゃいますか。
- ・ 立候補等がないようですので、よろしければ、事務局でお考えがございましたら提案をいただければと思います。

【事務局】

- ・ 事務局といたしましては、嶋田委員を会長に推薦させていただければと存じます。
- ・ 嶋田委員は、前会長であられた山下氏の後任として、今年 4 月から白井市副市長に就任しております。
- ・ 本協議会は、様々な組織・団体を代表する委員の方にお集まりいただいておりますが、市といたしましては、そうした様々な関係者様の御意見を伺いながら、市全体の交通政策を主体的に推進してまいる立場でございます。
- ・ その中で副市長職は、市長を補佐し、また市職員を総括していく役割でございますので、実務上の観点から、嶋田委員が適任であると考えてところでございます。

【副会長】

- ・ ただいま事務局からは、嶋田委員の推薦がありました。
- ・ 改めて立候補や推薦について確認をしたいと思いますが、御意見ある方はいらっしゃいますか。
- ・ 他に御意見等ないようでしたら、嶋田委員に会長をお願いしたいと思いますが、御異論ない場合は拍手をもって意思を表明してもらうようお願いいたします。

〔賛成者多数〕

【副会長】

- ・ 嶋田委員いかがでしょうか。

【委員】

- ・ 皆様よろしければ、お引き受けさせていただきたいと思います。

【副会長】

- ・ ありがとうございます。よろしくお願いいたします。
- ・ それでは、一度事務局に進行をお返しします。

【事務局】

- ありがとうございました。席の御移動をお願いします。
- それでは、嶋田会長から一言御挨拶をお願いいたします。

【会長】

- 副市長の島田でございます。改めましてよろしくお願いいたします。
- 各委員の皆様、それぞれの分野・立場で、様々な知識と御経験がある中で、議長を務めさせていただきますので、僭越ではございますが、円滑な議事進行に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

【事務局】

- ありがとうございました。それでは、議題に移らせていただきます。
- ここからの議事については、白井市附属機関条例第6条第1項に基づき、嶋田会長に議事の進行をお願いいたします。

3 令和7年度第1回白井市地域公共交通活性化協議会

報告事項（１） 白井市地域公共交通網形成計画の令和6年進捗状況について

【議長】

- それでは次第に沿って進めさせていただきます。
- 報告事項 1「白井市地域公共交通網形成計画の令和6年度進捗状況について」事務局から説明をお願いします。

【事務局】

- 資料1「白井市地域公共交通網形成計画の令和6年度進捗状況について」を御覧ください。
- 平成30年度から今年度までを期間とする現行計画である「白井市地域公共交通網形成計画」では、本協議会において進捗状況を適宜把握し、効果を検証することとしています。
- この度、令和6年度の実績が確定しましたので御報告いたします。
- 初めに、資料の1ページ目「1 計画目標の達成状況」です。
- 表の最も左側の列に4つの計画目標を示しており、そこから右に向かって、具体的な指標、目標値、実績値、達成状況、備考を示しております。
- 実績値については、初年度である平成30年度と、直近3年間の実績値を載せております。
- 1番の「ネットワークの拠点となる交通結節点の整備」につきましては、白井駅、西白井駅、工業団地の3箇所を対象に、交通結節点としての整備を行うことを指標としています。
- 昨年度も御報告しましたが、白井駅と西白井駅につきましては、令和3年8月にコミュニティバスのルート及びダイヤ改正を行い、鉄道とのアクセスの向上を図りました。

- 一方で、工業団地につきましては、乗換拠点とするための具体的な動きは特に取れていないことから、6年度の実績としましては前年度と同じ2箇所、達成状況は未達成としております。
- 次に、2番の「公共交通の人口カバー率の確保」につきましては、鉄道とバスによる人口カバー率を95.5%以上とすることを指標としています。
- なお、人口カバー率とは、ここでは、右下の図にありますように、駅から半径500メートル、バス停から半径300メートルの範囲にお住まいの方の人口を、前年度末の市の総人口で割った値をパーセントで表したものとしております。
- 結果は、総人口62,364人に対し、カバー人口が59,582人で、カバー率は前年度と同じ95.5%となっており、目標は達成としております。
- 3番の「公共交通の利用者の確保」につきましては、民間路線バスの市内運行系統の年間利用者数を100万人以上、市内の鉄道駅の年間利用者数を350万人以上確保することを指標としています。
- 結果は、バスが64万人で、一部路線の廃止があったことや、既存路線の減便の影響が大きいものと思われますが、前年度利用者数を大きく割り込み、達成状況は未達成となっています。
- 一方の鉄道はコロナ禍からの回復が続いていることなどから422万人で前年度を上回り、目標は達成としております。
- 4番の「公共交通利用促進活動の実施及び強化」につきましては、公共交通利用促進事業の取組項目数ということで、次のページで御説明します実施事業の内容である22項目のうち、実際に取組を行ったものを8項目以上とすることを指標としています。
- 結果としましては、6年度は12項目の取組があり、目標は達成ということにしております。
- 以上が、計画目標の達成状況です。
- 次に、2ページ目「2 実施事業の取組状況」です。
- この計画では、今御説明した計画目標を達成するため、7つの実施事業を設定し、その下に全部で22項目の実施内容を定めておりますが、それらの令和6年度の取組状況になります。
- 表の最も左側の列には7つの実施事業を示しており、そこから右に向かって、計画上の実施主体、全22項目の実施内容、具体的に取組んだ事項、備考、先に御説明した計画目標の4番への実績計上の有無、計画終了までの進め方 を示しております。
- 事業1「市内における公共交通結節点の強化」につきましては、2つの実施内容を定めておりますが、このうち①「効率的な交通結節点の設定、利用しやすい環境の整備」につきましては、先程計画目標1でお話ししましたとおり、工業団地において具体的な取組ができておりません。
- 次期計画においては、交通結節点の位置付けから改めて見直しを図っていきたいと考えております。
- ②「にぎわいのある交通結節点の整備」ですが、市では白井駅・西白井駅について、駅周辺地域の活性化を重点事業と定め、土地の利活用の検討を進めておりますが、現時点ではまだ実績として具体的な整備等には至っておりません。

- 今年度は両駅における事業検討パートナーを決定する予定となっておりますが、市としては引き続きこの駅周辺地域活性化事業を推進し、両駅周辺の賑わいづくりを進めてまいります。
- 事業2「路線バスを主体とした交通サービスの維持・向上」につきましては、実施内容として、事業性の高い区間の運行本数・ダイヤの検討、としており、主に事業者様によるルートへの延伸や増便などを対象としておりますが、令和6年度は該当するものはございませんでした。
- 事業3「コミュニティバスの運行サービスの見直し」につきましては、5つの実施内容を定めております。
- まず、①「バスロケーションシステム導入の検討」につきましては、昨年度の会議で御報告しましたが、令和6年2月から運用を開始しており、6年度は概ね順調に運用を継続しました。6年度の閲覧回数は13,853回でした。
- ②「役割に応じた運行ルートの見直し」と③「交通結節点における鉄道、路線バスとの乗り継ぎダイヤの調整」につきましては、これを受けて令和3年8月に実施した新ルート及びダイヤによる運行を6年度も継続しました。
- 6年度のコミュニティバス利用者数は91,385人で、2年連続で増加しております。
- 今年度は運行を継続するとともに、次期計画に位置付ける次の改正の考え方を具体化していきたいと考えております。
- ④「地区の需要に応じた小型車両の導入の検討」と⑤「受益者負担の見直しの検討」については、具体的な検討には至りませんでした。
- 車両については、今申し上げた次のルート・ダイヤ改正に向けた検討の中で、併せて考えてまいりたいと考えております。
- また、受益者負担の検討につきましては、市では使用料・手数料の受益者負担の見直しを定期的に行っておりますので、その中で総合的に検討してまいります。
- 事業4「多様な運賃制度の導入検討」につきましても、6年度は情報収集にとどまり、具体的な導入の検討は行えませんでした。最終年度となる今年度も、情報収集は継続し、次期計画でどのように取扱いしていくかを考えてまいりたいと思います。
- 事業5「地区に応じた適切な交通手段の継続的な調査・研究」についてですが、実施内容の①「優先事業、適切な時期を捉えた市民ニーズの把握につきましては、前回会議で中間報告をさせていただきましたが、12～1月にかけて「公共交通に関する市民アンケート」を実施したところです。最終結果はこのあと御説明いたしますが、この結果は次期計画策定に向けた課題整理等に活用してまいります。
- ②「乗合タクシーやデマンド型交通など、継続的な先進事例の調査・研究」につきましては、6年度は今年3月に横芝光町で行われた自動運転の実証事業において試乗及び説明会に参加したほか、同じ3月の前回会議においては、市民団体によるグリーンスローモビリティの社会実験計画を紹介させていただきました。

- この社会実験につきましては、その後、市では、警察や道路管理者との事前協議への同行や、広報周知活動への協力などの側面支援を行わせていただいております。
- 事業6「利便性の高い地域公共交通の環境整備」についてですが、まず、①「主要なバス停（結節点）におけるベンチ、上屋の整備」につきましては、昨年度御説明しましたとおり、白井駅南口コミュニティバス乗降場への上屋・ベンチの設置、市役所・西白井駅・千葉NT北口の各乗降場へのベンチ設置を実施いたしました。
- ②「市内駅におけるアクセス特急の停車、特急増便の要望」につきましては、具体的な要望活動の場は限られてはおりますが、先月ございました北総鉄道様の株主総会においても、市長の発言の中でこのことに触れさせていただきました。今後も同社との意思疎通を図りながら、機会を捉えて市の意向を伝えていきたいと考えております。
- ③「高齢者や障がい者に対応した接客サービスの向上」に関しましては、市の福祉部局と連携して毎年開催している「地域ケア推進会議」において、高齢者や障がいのある人の移動の問題について議論し、取組状況の把握を行っております。
- なお、この会議においては、公共交通機関の接客向上に直接関わる取組項目はないため、実績としては、6年度は「×」に改めております。
- 今年度は、「外出支援者の育成」等の関連項目について取組を継続してまいります。
- ④「ユニバーサルデザインタクシー車両の導入の促進」につきましては、タクシー事業者様の実績になりますが、ユニバーサルデザインタクシーの導入が新たに1台増えております。
- 事業7「公共交通の利用啓発」についてですが、まず、①「各駅にバス交通の路線案内板を設置」についてです。
- こちらは、市役所ロビーには電光掲示の路線図を掲出しておりますが、駅については設置できておりません。
- 次期計画の策定においては、効果的な案内方法から改めて検討したいと考えております。
- ②「公共交通の学習内容の拡大、充実、子供向けの教室（イベント）の開催」につきましては、市民向けの「なるほど行政講座」に、公共交通についての講座を設置しております。
- なお、6年度につきましては、申込はありませんでした。
- ③「分かりやすい市内公共交通マップなどの充実」につきましては、コミュニティバスのルート及びダイヤのGTFSデータでの提供を継続し、Googleマップや乗換案内サービスでの検索を可能にしていることと、「白井市地域公共交通ブック」の配布も継続しております。
- ④「沿線自治体等と連携した鉄道の利用促進活動の推進」につきましては、令和4年から北総線沿線地域活性化協議会の事業として開始した「沿線活性化トレイン」を6年度も運行し、利用促進を図りました。
- 沿線活性化トレインは今年度も運行の予定で、7月15日から2月まで、羽田空港と印旛日本医大駅の間を運行することとなっております。

- ⑤「タクシー利用案内の実施」につきましては、③でお話ししました白井市地域公共交通ブックに、待機場所やタクシーの乗り方、各社の特色ある取組などをまとめてありますので、配布を継続してまいります。
- ⑥「免許返納の啓発の実施」につきましては、市ホームページ等で自主返納制度の案内を実施しており、今年度も継続してまいります。なお、市としては、積極的に返納を推奨するものではなく、制度を案内することを趣旨としております。
- 報告事項1「白井市地域公共交通網形成計画の令和6年度進捗状況について」の説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

【議長】

- 私から一つ補足説明をお願いしたいのですけれども、事業の7の③「分かりやすい市内公共交通マップなどの充実」という項目で、G T F Sデータというのはどういったものか、どのような機能があるのかなど補足説明をお願いします。

【事務局】

- 御説明が不足しておりまして申し訳ございませんでした。G T F Sデータといいますのは、簡単に申し上げますと、バスの時刻表をデータ化したものということになります。
- このG T F Sデータという形でG o o g l e社が行っておりますG o o g l eマップなどに情報を提供することで、G o o g l eマップ上で乗換え検索などができるようなものとなります。
- G o o g l eマップと併せまして、民間の乗換え案内サイト、こういったところでもコミュニティバスの時刻が検索可能になるといったものでございます。

【委員】

- 白井市地域公共交通網形成計画の実施状況の御説明をいただきまして、十分理解できました。
- 今回の網形成計画については、当初の計画期間を、白井市の第5次総合計画の目標年次に合わせて、3年間、目標の時期を変更して延期したという経緯がございます。
- 現在、令和7年度になっていまして、白井市の第6次総合計画というものが、現在策定中だと思われるのですが、白井市の第6次総合計画というのはどのような概要なのでしょう。
- これから地域公共交通計画が策定されると思うのですが、総合計画のほうは、目標に向け、達成状況はどういう状況なのかということを簡単な概要で結構ですので、策定状況を含めて、お話をいただけるとありがたいと思います。

【事務局】

- 御指摘のとおり、令和8年度から白井市総合計画も新しくなることとなっております。
- 進捗状況、それから整合の取り方につきましては、最後の「その他」のところでは改めて御説明はさせていただきますが、今、提示されている基本計画、交通分野につきましては、最後の文言は若干違うかもしれませんが、誰もが気軽に移動できる環境をつくり出していくといったコンセプトで交通計画のほうは進めていくようにというような形になっております。
- 今回の計画につきましても、それを念頭に置きながら策定を進めていくことになろうと思っております。

【議長】

- ありがとうございます。ほかに何かございませんでしょうか。

【委員】

- お尋ねしたいのですが、なるほど行政講座で、昨年度講座をしようと思ったがところ、1名も申込みがなかったというようなことで、市民の立場からすると、今年はどうしていこうというお考えなのかお尋ねしたいです。

【事務局】

- 白井なるほど行政講座、交通分野も含めまして、多種多様な講座が用意されております。
- 交通部門の私どもといたしましては、この後、例えば、この計画策定に向けたワークショップを開くほか、市民の方々と対話をさせていただける機会がございますので、そういったときにPRなどをしていければと考えております。

【議長】

- ほかに何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。
- それでは、続きまして報告事項の2つ目、市民アンケート及び関係機関ヒアリングの結果について事務局から御説明願います。

報告事項（２） 市民アンケート及び関係機関ヒアリングの結果について

【事務局】

- 最初にアンケートの結果から御説明しますので、資料2-1「公共交通に関する市民アンケート報告書」を御覧ください。
- 今年3月の前回会議において中間報告まで行わせていただきましたが、集計が完了しましたので、改めて結果を御報告いたします。

- 調査の概要につきましては1ページのとおりです。アンケートは2,380世帯に配布し、回収世帯数は651世帯で、世帯回収率は27.4%でした。
- なお、アンケート用紙は1世帯で4人まで回答できるようになっておりますので、個人単位で見ますと、配布数9,520票に対し回答数は1,266票で個人回収率は13.3%でした。
- 結果の要旨を御説明します。最初に、「日常の外出について」です。
- 15ページになります。この報告書では、基本的には、各質問の回答を市内の6地区別に集計し、回答の比率をグラフ化しております。
- 地区分けは都市マスタープランと共通のもので、小学校区をもとにしております。
- 第1地区は白井第一小学校区で、古くからの市街地を含む市の中央部、第2地区は白井第二小学校区で、工業団地などがある市の北部、第3地区は白井第三小学校区で、富士地区の市街地を含む市の南西部、第4地区は大山口・清水口・七次台小学校区で、西白井駅を中心としたニュータウン地区や西白井地区を含む市の西部、第5地区は南山・池の上小学校区で、白井駅周辺のニュータウン地区を中心とした市の南部、第6地区は桜台小学校区で、千葉ニュータウン中央駅から広がる市街地の一角である桜台地区を含む東部です。
- また、このページのように、項目によっては、下に囲みを設け、全地区共通で、65歳以上の高齢者に着目したクロス集計を加えてあります。
- 通勤の頻度につきましては「週5日以上」が総数で65.1%と最も多くなっていました。ただし、65歳以上の人については36.8%となっています。
- なお、65歳以上の全回答者637人のうち、この質問に回答があったのは155人でしたので、少なくとも65歳以上の人の24.3%は、月1～2回以上は通勤をしていることになります。
- 16ページを御覧ください。通勤先は「市外」が77.4%を占めています。
- 18ページをお開きください。主な通勤手段は自ら運転する自動車が45.5%で最も多く、特に第2地区では8割近くを占めています。2番目は鉄道で40.2%となっており、第5地区では半数を超えています。
- 21ページをお開きください。通学の頻度も通勤と同様「週5日以上」が最も多くなっていきます。
- 22ページを御覧ください。通学先は「市外」が83.6%を占めています。
- 24ページをお開きください。主な通学手段は鉄道が58.6%で最も多くなっていきます。サンプル数が少ないですが、第2地区では自動車が最も多くなっていきます。
- 27ページをお開きください。通院についてですが、頻度は、「月1～2回」が92.4%で最も多くなっていきます。65歳以上の人でもほぼ同じ結果です。
- ただし、65歳以上の回答者637人のうち、この質問に回答があったのは414人でしたので、少なくとも65歳以上の人の65.0%は、月1～2回以上は通院をしていることになります。
- 28ページを御覧ください。通院先は、市内が68.4%、市外が31.6%となっています。
- 30ページをお開きください。主な通院手段は自ら運転する自動車が48.5%で最も多くなって

います。第2地区では特に自動車が多くなっています。

- 33ページをお開きください。日常の買い物についてですが、頻度は、「週1～2回」が最も多くなっています。65歳以上の人でもほぼ同じ結果です。
- 34ページを御覧ください。日常の買い物先は、市内が79.9%となっていますが、印西市の千葉ニュータウン中央地区と隣接している第6地区では市内と市外が半々になっています。
- 35ページをお開きください。買い物の主な交通手段は自ら運転する自動車が62.7%で最も多く、こちらも第2地区で特に多くなっています。
- 38ページをお開きください。定期的な趣味・教養のための外出ですが、頻度は「週1～2日」が最も多く、65歳以上でも同様です。
- ただし、全回答者1,266人中、この質問に回答があったのは532人なので、少なくとも月1～2回以上は趣味や教養のため外出している人は全体の42.0%ということになり、65歳以上に限って見ても43.5%となっています。
- 39ページをお開きください。趣味・教養の行先については、市内が51.9%、市外が48.1%となっています。
- 41ページをお開きください。趣味・教養の交通手段は自ら運転する自動車（52.4%）が最も多く、こちらも第2地区で特に多くなっています。
- 以上、「日常の外出について」全体的に見ると、通勤・通学は市外への移動が中心であるのに対し、通院や買い物は市内が多くなっていました。
- また、地区別では、第2地区は自動車利用や早朝・夕方の移動が多い、第1地区は徒歩や市内利用が多い、といったいくつかの特徴がみられました。
- 次に44ページをお開きください。鉄道の利用状況についてです。
- 利用頻度では、「利用しない」という人が41.5%で最多、次いで「月1～2回」が29.7%でした。特に第2地区では鉄道の利用が少なくなっています。
- 45ページをお開きください。最も多く利用する路線は「北総線」が85.1%となっていますが、第2地区は東武アーバンパークラインが42.9%、第3地区は新京成線（現京成松戸線）が44.6%と比較的高くなっています。
- 46ページを御覧ください。最も多く利用する駅は、第1・第5地区は白井駅、第2地区は「その他」の高柳駅、第3地区は西白井駅と鎌ヶ谷大仏駅、第4地区は西白井駅、第6地区は千葉ニュータウン中央駅がそれぞれ多くなっています。
- 56ページをお開きください。鉄道の総合的な満足度は、満足とやや満足が合計27.1%、やや不満と不満が合計43.5%となっています。
- 次に59ページをお開きください。民間路線バス及びコミュニティバス（ナッシー号）の利用状況についてです。
- 利用頻度では、「利用しない」という人が82.4%で最多、次いで「月1～2回」が12.1%であり、現状では実際の利用場面はかなり限られていることがわかります。

- 60ページを御覧ください。最も多く利用するバス会社は、第1から第4地区ではちばレインボーバス（現京成バス千葉セントラル）が最も多く、第5・第6地区ではコミュニティバスが多くなっています。
- 73ページをお開きください。バスの総合的な満足度は、満足とやや満足が合計11.8%、やや不満と不満が合計62.4%となっています。
- 62ページにお戻りください。このページから64ページまでの結果にありますように、バスの満足度につきましては、運行本数の少なさに対する不満が特に大きくなっています。
- 71ページをお開きください。逆に、バスの満足度が最も高かったのは、「時間通りに運行する定時性」で、満足とやや満足が合計は31.7%でした。
- 次に80ページをお開きください。タクシーの利用状況についてです。
- 利用頻度では、「利用しない」という人が88.7%で最多、次いで「月1～2回」が10.3%であり、バス同様に、現状では実際の利用場面はかなり限られていることがわかります。
- 85ページをお開きください。タクシーの総合的な満足度は、満足とやや満足が合計27.8%、やや不満と不満が合計33.1%となっています。
- 86ページを御覧ください。コミュニティバスの利用促進についてです。
- 利用の促進に必要とされることとしては、「バスの台数や運行本数を増やす」が最多の41.9%でした。次いで「ルートや行き先のわかりやすさ」が34.5%、「乗り継ぎのしやすさ」が31.7%、「日曜祝日の運行」が24.7%と続いています。
- 地区別では、第1地区は乗り継ぎの改善、第2地区は小型車導入、第3・第4・第6地区では運行本数の増加を重視する傾向がみられますが、全体的に、運行数と利便性の向上が主に求められているものと考えられます。
- 87ページをお開きください。新型コロナウイルス感染症等による影響についてです。新型コロナの影響による公共交通の利用頻度の変化は、77.6%が「変わらない」と答えていました。
- 88ページを御覧ください。一方で、影響を受けた外出としては、「日常の買い物」や「通院」、「通勤」が多くなっています。
- 93ページをお開きください。新たな公共交通・サービスの導入についてです。
- 「AIオンデマンド交通」、「ライドシェア」、「グリーンスローモビリティ」、「シェアサイクル」、「カーシェアリング」、「バス等の自動運転」の6種類について関心を尋ねたところ、「ぜひ利用したい」「機会があれば利用する」と答えた人が最も多かったのは、AIオンデマンド交通の60.7%、次点は、バス等の自動運転の55.9%でした。
- 一方で、「全く利用しない」「あまり利用しない」と答えた人が最も多かったのは、カーシェアリングの78.3%で、次点はライドシェアの69.2%でした。
- 最後に、99ページを御覧ください。調査票巻末の自由意見欄の中から無作為に抽出した御意見を類型化してまとめております。

- また、全ての御意見は、本日追加資料として配布させていただきました別紙のほうに掲載してございます。全体の比率としては、路線バス及びコミュニティバスのルートやダイヤに対する御意見御要望が、最も多数を占めております。
- 概要のみではございますが、以上が市民アンケートの結果です。
- 次は関係機関ヒアリングの結果になります。
- 資料2-2「白井市地域公共交通計画の策定に向けた関係機関ヒアリング結果」を御覧ください。
- はじめに調査の概要ですが、期間は今年5月26日から6月5日まで。目的は、現状における問題・課題及びそれらの優先度等を把握すること。また、来年度からの次期計画期間中における、市内公共交通の需要・供給の変化や、それに対する各機関の対応方針などについて見通しを得ることとしています。
- お話を伺った対象は、市内を運行する交通事業者として鉄道1社、路線バス2社、タクシー2社。市内の総合病院3院、白井工業団地協議会、運動公園、市民プール、公民館など公共施設10施設の指定管理者、市役所内の関係部署6課で、合計25者、実施回数は14回になります。
- また、ここには書いてございませんが、実施に際しては市の職員2名とコンサルタント1名で相手先を訪問、又は御来庁いただき、概ね30分から1時間程度お話を伺いました。
- 結果の要旨です。鉄道事業者は北総鉄道様になりますが、利用動向は平日朝夕の通勤通学利用がメインで、令和4年の運賃値下げにより、高校生など学生の利用は増加しているとのことです。また近年アクセス特急等のインバウンド旅客は増えていますが、白井市内の駅への波及は少ない状況です。
- 課題としましては、通勤通学路線として沿線人口の高齢化の影響が大きく、また、人材確保が難しくなっていることや、新鎌ヶ谷以西の第2期線で必要な設備投資が増えてきていることなどが挙げられています。
- 利便性向上の取組として、待合室の設置などを進められております。
- 市に対しては、市と締結している駅周辺の活性化に関する協定も活かして、駅周辺のまちづくりの推進や、子育て世代を取り込む事業の推進、駅までのバス便の確保などを望む御意見をいただいております。
- 次に、路線バス事業者は、京成バス千葉ウエスト様と京成バス千葉セントラル様からお話を伺いました。
- 利用動向としては、まず鎌ヶ谷大仏駅と西白井駅・七次台を結ぶ京成バス千葉ウエストの西白井線について、この路線は昨年4月に朝夕の減便があったところですが、改正前はラッシュ時の便でも2桁に届かない程度であり、現在も日中ほぼ利用者がいない状況とのお話がありました。

- 新鎌ヶ谷や高柳駅から白井工業団地やアリオ柏に向かう京成バス千葉セントラルの西白井線・下総航空基地線は比較的堅調に推移しているとのことですが、同じ京成バス千葉セントラルでも、西船橋と白井駅・白井車庫を結ぶ白井線、桜台地区を走る北口循環線は年々利用者が減少しています。
- 課題についてですが、京成バス千葉ウエスト西白井線は、乗客減に加えて、老朽化したバス停上屋など施設改修も必要となっていることが挙げられています。
- 京成バス千葉セントラル様は、白井線が令和7年度から国庫補助対象外になってしまったことや、鎌ヶ谷大仏から富士地区にかけての木下街道の渋滞により定時運行が難しいことなどが挙げられています。
- また、白井駅から工業団地への通勤時間帯の増便や、白井第2工業団地への路線延伸については、交通渋滞や需要の不透明さなどから現時点では難しいとのことがありました。
- 市が2社に運行を委託しているコミュニティバスについては、現場にとっては料金体系が複雑であることなどのお話がありました。
- また、路線バスとも共通する課題として、運転士不足が深刻であることは両社からお話をいただいています。
- 利便性向上の取組としましては、京成バス千葉ウエスト様での金額式IC定期券導入などの動きがありました。
- 市の交通施策に対してですが、京成バス千葉ウエスト様の西白井線については、これは市のほうから伺った質問ですが、コミュニティバスによる補完があるとありがたいとの御見解をいただいております。
- そのほか、閑散区間へのデマンド交通などの導入の検討の提案や、運転士の採用合同説明会への協力のお申し出などをいただいております。
- 3ページに移りまして、タクシー事業者です。こちらは、白井タクシー様とエミタスタクシー北総様にお話しを伺いました。
- 利用動向として、利用が多いのは平日の朝夕で、旅客数はコロナ前と同程度まで回復してきているとのこと。
- ビジネスでの利用が増えているほか、市民の方では、免許返納者など70～80歳代の方が多いようです。また若い人も、車を持たなくなっていることなどを受け、一定数の利用があるとのこと。
- 課題としましては、バスほど深刻ではないもののドライバーの確保が大変であることと、需要の規模があまり大きくないということが挙げられています。
- 利便性向上の取組としましては、配車アプリやキャッシュレスサービスの導入、会社様によっては免許返納割引や、陣痛タクシーといった施策、待機場の整備などを進められております。
- 市の交通施策については、福祉タクシー券の充実や、白井駅北口のタクシー駐車場の整備など

の御要望をいただきました。

- また、乗客の極めて少ないバス路線についてはデマンド型も含めた検討が必要では、という御意見をいただくとともに、状況によってはデマンド交通などへの事業展開も考え得ることをお示しいただきました。
- 4ページに移りまして、総合病院です。こちらは市内3つの総合病院様にお話を伺いました。
- 来院の動向ですが、各院とも、外来は午前中、自家用車での来院が多くなっています。
- 送迎バスは1〜3割程度とのことでしたが、路線バス・コミュニティバスの利用は各院とも少ないとのことでした。
- 送迎バスは、各院とも独自に運行しております。運賃は無料ですが、運転手の介助なしで乗降できることが条件で、車いすでの乗車はお受けしていないとのことでした。
- ルート・ダイヤは様々ですが、主にニュータウン地区、富士地区、西白井地区等への路線が設定されており、路線によっては日に10往復以上が走っています。
- 将来的な一般旅客との混乗の可能性についても伺いましたが、各院とも難しいとの見解をいただいています。
- また、院によっては、送迎バスのドライバー確保も難しくなりつつあるとお話をいただいています。
- 公共交通に対する要望等としましては、平日は家族による送迎が難しく路線バスで通院したいという人もいるので、病院のすぐそばにバス停があるとよいといったお話をいただきました。
- 次に、工業団地です。白井工業団地協議会様からお話を伺いました。
- 団地内には約7,000人の方が就業しているということです。夜勤などもあるものの、基本的には朝8〜9時、夕方16〜18時頃の出退勤が多く、通勤方法は、自家用車・バイクが86%、送迎バスが7%、自転車・徒歩が4%、公共交通は2%となっています。
- 送迎バスは、企業によっては運行していますが、委託先のバス会社でもドライバー等の人手不足が生じているとのことでした。
- 送迎バスの最寄り駅は、新鎌ヶ谷駅、高柳駅、六実駅、西白井駅、千葉NT中央駅となっており、白井駅発着の便はありません。
- 公共交通に対する要望等としては、パート社員等の増加により、通勤集中時間帯、特に夕方のバスの便数の確保が求められています。
- 路線バスが拡大されれば、送迎バスからの需要移転も一定数見込まれるとお話もありました。
- 企業によっては、通勤手段がないことによる若者の内定辞退も生じているということで、新鎌ヶ谷方面・千葉ニュータウン方面に加え、白井駅、西白井駅方面の強化も求められています。
- また、現在はコミュニティバスしか走っていない第2工業団地エリアへの路線バス延伸についても御要望をいただきました。

- 5ページを御覧ください。次に、白井運動公園及び市民プールです。指定管理者様からお話しを伺いました。
- 来訪者の交通手段は、運動公園・プールを通じて、自家用車が8割、自転車・徒歩が1割、公共交通機関の割合はわずかとのことでした。ただし、市民プールは開設期間中、利用者が常に多いので、絶対数ではコミュニティバスの利用者もそれなりにいるとのことでした。
- 公共交通に対しては、利用者が多い日曜日にコミュニティバスが運休しているのが残念であるということ、またプール利用者にとって終バスが早すぎる、プールからバス停が離れていることについて御指摘をいただきました。
- 「各センター」につきまして、これは市の公民館など8施設で、センター長の会議で各指定管理者様から一括してお話しを伺いました。
- 利用者は高齢者が多く、こちらも公共交通で来られる方は全体的にほとんどいないとのことでした。
- しかしながら、コミュニティバスの本数が少ないことなどへの不満を利用者から聞くことがあるということですので、使いたいけれど不便なので使えない、ということもあるのでは、との御指摘をいただきました。
- また、講座などは日曜開催が多く、コミュニティバスの日曜運行の希望もいただきました。
- 6ページを御覧ください。市役所庁舎及び文化センターについてです。こちらは管理を担当する市の2つの課から話を聞きました。
- 市役所来庁者については、大半は自動車で来られています。
- また、文化センターは、年間5～6万人の方が来館しますが、市民は主に自家用車、コンサートなどで市外から来訪される方は白井駅から徒歩又はタクシー利用が多いとのことでした。
- また、市役所と異なり、催し物が多い休日の来訪者が多いのが特徴です。
- 公共交通に対しては、来庁者から、駅や市役所でのバスの案内が分かりにくい、白井駅から市役所までのルート案内がない、といった声や、バスの休日運行や本数増を求める要望があるとの指摘がありました。
- 6ページを御覧ください。市の福祉担当部局として、高齢者福祉課と障害福祉課から話を聞きました。
- 高齢者や障がいのある方の移動動向としては、移動に支援が必要な高齢者の移動の目的としては、8割弱の人が通院やデイサービス、5割程度の人が買い物を行っています。
- 要介護1でも公共交通による移動は厳しいため、福祉有償運送事業者の支援やボランティアの養成などを進めています。
- また、ひとりで歩けるものの、その機能が弱ってきている高齢者の支援も課題となっています。
- 障がいのある方の移動については、自家用車や徒歩が多いとの調査結果はあるものの、障がいの種別や程度によって生活は千差万別のため、一概に言えないものとなっています。

- 公共交通に対して、高齢者からは、乗合バスよりもタクシー券やデマンドタクシーを望む声が多いとの話がありました。
- また高齢者、障がい者とも、工業団地で就業したいとのニーズがあるものの、交通手段が足りていないとの声があるとのことでした。
- また、障がいのある方の移動については、ルートやダイヤよりも、バリアフリーや合理的配慮への要望が大きいといったコメントもありました。
- 最後に、市の将来像を構想する企画担当部局として、2課から話を聞きました。
- 公共交通に対しては、今後の駅前再整備や、集客施設の誘致も睨んで、市内の回遊性を高めたいとの意向がありました。
- その他、若い世代にアピールする形での施策推進、地域活力による新たな交通整備、バス輸送の効率化の方策、シェアサイクルの導入などについて、アイデアの提供がありました。
- こちらも概要のみでございますが、以上が関係機関ヒアリングの結果でした。
- 報告事項2の説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

【議長】

- 事務局からの説明につきまして、御質問・御意見等がございましたらお願いします。

【副会長】

- 関係機関ヒアリング結果のところを拝見しますと、大分現状で公共交通ネットワークに関わる課題が増えてきているのか、元からこういう状態だったことになかなか気づけていなかったということなのかが分かりませんが、改善が必要だという感じを強く受けた次第でございます。
- 特にナッシー号については、私が活性化協議会に関わるようになってから、ずっと日曜日は運行しないということでやっているのですが、これまでも日曜日も運行してほしいという声も少なからずあったと記憶しておりますが、具体的に公共施設等に行くための手段がないというようなことで、活動が少し制限されているようなことがあるということがあるとすると、少し改善が必要というところを感じた次第でございました。
- いろいろ課題がありますが、課題を全部解決しようとする、なかなか大変なところがあるかと思います。
- しかしながら、前回の計画の内容をどのように変えていくかというところで考えると、これらの意見を非常に活用して、新たなネットワークをつくっていくような形で計画をつくっていくほうがよろしいのではないかなと感じました。
- 質問ではなく意見でございます。よろしくお願いいたします。

【議長】

- ありがとうございました。ほかにも何かございますか。

【委員】

- 資料2-1の7ページのところなのですが、特に御説明があったわけではないのですが、私、今日この会議初めて出させていただいて、白井駅に初めて降り立って、地域性など、すごくニュータウンな感じがするというような印象を受けました。
- アンケートの回答の年齢階層について記載があり、一番多いのが75歳以上となっています。
- 特徴的だなと思ったのが、大体こういったアンケートは、アンケート回収率も20数%で、その中で一番多い年齢層は、大体いつも60代で、次いで70代、80代となり、50代や40代が数%というパターンがすごく多いかなと思っているのですが。
- 白井市のアンケート結果を見ると、非常に50代とか40代が多いかなという気がして、これは何か配布方法とか回収方法で工夫した点とかがあれば教えていただければと思います。

【事務局】

- 配布方法としましては、無作為抽出ですので、特に工夫、あるいは重み付けとかというのはしていない状況です。
- 白井市の人口ピラミッドを見ますと、令和7年現在ですと、高齢化が進んできてはいるのですが、40代や50代というのは結構なボリュームゾーンとなっておりますので、それが反映された結果と考えている次第です。

【委員】

- 分かりました。ありがとうございます。

【委員】

- 公共交通に関する市民アンケートの報告書ということで、詳細に御説明をいただきまして、ありがとうございます。2点質問させていただきます。
- 詳細に調査されて、アンケートが整理されているのですが、これから公共交通計画を策定して、計画書の中にどうやって入っていくのでしょうか。
- アンケートのデータを整理したということなのですが、例えば、直近の白井市における市民の意向が詳細にこれ分かるということで、非常に有効なデータだと思います。
- 例えば、5年に1回、国勢調査というのがありまして、同様に市外からの移動とか、通勤通学でどのような状況というの、マクロで調査したデータというのは公表されているところでございます。

- 直近でこのようなデータがあって、このアンケート調査による報告書のデータに何か特異な点はないかとか、地域公共交通網形成計画においても、全部同じではありませんが、同様の傾向の調査があって、8年前の状況から今回の意向がどのように変わったか、そうした経過的な変更点なども今後検討していくのではないかと思います。
- 計画に今後、策定で盛り込んでいくに際しては、この市民アンケートでこうただただではなくて、ある程度、出たデータが白井市においては今どういう状況なのかというのをもう少し分析を入れていただき、これからの計画の中に位置づけていただければ、大変有効ではないかと思えます。
- もしそちらについて、現在お考えの部分があれば、お話をいただきたいというのが、1点目でございます。
- もう1点目については、資料2-2「白井市地域公共交通計画の策定に向けた関係機関ヒアリング結果」ということで、こちらも詳細に、5月26日から6月5日の間に、大変精力的にやっていたいただきました。
- 内容は十分分かったのですが、今、ちょっと前に話した市民アンケートの内容にも、こうした関係機関の対象がどのような形なのかなというのが、もしお考えを伺えればと思っています。
- 例えば、この市民アンケートの中には、通学に関する情報も、アンケートとしては市民の意向を聞いています。
- この関係機関のヒアリングの結果を拝見しましたところ、学校、あるいはPTA、あるいは市の中の教育関係部局、こうしたものも関係になると思うのです。
- こうしたところへのヒアリングというのは、現時点ではないけれども、今後予定するのかどうか、もしくは学校に対する別のアプローチがあるのであれば、お伺いできれば。
- また、あとは同じように、鉄道とかバスにも、それぞれ経営側のほうにもヒアリングをしたとなっているのですが、実際には、経営側のそうした経営方針とかいろいろあると思います。
- それを担う運転者のいろいろな労働組合とかもあります。
- 委員にも労働組合の方が入っていますけれども、そうした関係する方々へのヒアリングというのを今後どのように進めていかれるのか、この辺のお考えをもしお伺いできれば、計画策定では大変参考になると思います。
- 以上2点よろしくお願いします。

【議長】

- ありがとうございます。
- 大きく分けて、まずアンケートの分析といった観点で、もう少し詳細な分析をしていくかどうかというあたりと、市内の教育関係部門を含め、あるいは交通関係事業者の皆様にも聞いていくべきではないかといった趣旨の御質問、御指摘かと思えます。

【事務局】

- まず、アンケートの結果をどのようにこの計画に反映させていくかというところになります。
- 今回は、基礎調査として、このアンケート、それからヒアリングなどを行わせていただきました。
- この後、協議事項ということで、課題の整理というのに入らせていただきます。
- その中で、エッセンス的にはなってしまうのですが、このアンケートあるいはヒアリングの中から浮き出てきたものを盛り込んで、課題の整理をさせていただいているつもりですので、まずは、そこに反映しているということが一つ。
- ただ、課題を決めた後に実際、方針と目標を決め、取組を次回以降考えていくことになると思いますが、その時々、やはりアンケート、ヒアリングに立ち返らないといけないことというのは多々出てくるかと思います。
- それは、その都度、今この場でどこというふうには言えないのですが、考えていければと思っている次第でございます。
- 次に、教育や学校など、それからドライバーさんなどへの組合なども含めたヒアリングということで、こちらにつきましては、今回のヒアリングの中では対象としておらず申し訳ありません。
- 学校のほうで言いますと、一つには通学ということで、市内ですと、大学はないのですが、白井高校さんという県立高校が1校ございます。
- 確かに白井高校の生徒さんが電車とかで通学されているのをよく見ますので、具体的にどういう形でお話を聞けるかというのは、今、御説明はできないのですが、市の教育委員会なども通じて、付き合いはありますので、ここ高校生の方の通学方法とか分からないなというのが出てきたら、きちんと聞いていきたいと考えております。
- ドライバーへのヒアリングにつきましては、申し訳ございませんが、考えが至っていなかったところです。
- 今回、労働組合のほうから委員さんをお願いしておりますし、あと先ほど学校のほうも、教育委員会からも委員さん出ておりますので、適宜御意見なども伺いながら進めていければというふうに考えております。

【議長】

- ありがとうございます。ほかにも何かございましたら、ぜひお願いいたします。
- 報告事項の2については、以上でよろしいでしょうか。
- 次に、報告事項3「地区別ワークショップの実施予定について」事務局から説明をお願いします。

報告事項（３） 地区別ワークショップの実施予定について

【事務局】

- それでは、今月末から予定しておりますワークショップの概要について御説明いたします。資料3「地区別ワークショップの実施予定について」を御覧ください。
- 実施の要点といたしましては、各地域における公共交通の現状の説明と、御意見の収集を兼ねて行うもので、市にとっては、課題解決の優先度の高い地区を把握して今後の事業化に向けての基礎資料にするとともに、移動手段を維持するために地域や自分たちができることは何かを、市民の皆様にお考えいただくきっかけの場にもしてまいりたいと考えております。
- 実施の概要ですが、全市を6地区に分けて行うこととしており、実施日程の欄にありますように、7月26日から8月3日まで、市内の公民館等で順次行ってまいります。
- ここで、第3地区、富士センターの「富」の字がうかんむりになってしまっておりますが、正しくは、点がないわかんむりになります。お詫びして訂正いたします。
- つぎに対象者は、原則として市内在住、在勤、在学者としています。
- 内容ですが、まず、職員・コンサルタント及び御協力いただける市民協働ファシリテーター登録の方が進行役となり、参加者を5～6名ずつ班分けして、話しやすい雰囲気を作り出します。
- その上で、準備したワークシートに沿って、テーマ① 日常生活における移動の「困りごと」について、テーマ② その「困りごと」を解決するための方法、テーマ③ 公共交通を維持するために、地域・自分たちができること、について、自由に話し合ってください。
- ワークショップの成果としましては、必ずしも交通に限らず、買物や通院など日常生活における問題点を把握できること、公共交通や移動の問題・課題について、地域と行政で共通認識を醸成できること、課題を解決し、地域に求められる公共交通の方向性を抽出できること、
- 地域の主体による持続可能なコミュニティ交通の運営体制づくりにもつながる足掛かりとなること、などを期待しているところでございます。
- なお、現在、参加者募集のPRを、広報しろい、市ホームページ、メール配信サービス、SNS、チラシ配布など様々な手段で行っておりますが、残念ながらあまりお申込みが多くない状況です。
- 本日、追加資料としてリーフレットを配布させていただきましたが、委員の皆様におかれましても、もし、白井市内にお住まい又はお勤めのお知り合いの方などで、御興味のある方がいらっしゃいましたら、お声がけをいただければ幸いです。
- 報告事項3の説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

【議長】

- では、報告事項3につきまして、何か御質問、御意見等ございましたらお願いいたします。

【委員】

- 資料3を拝見していて、質問になるのですが、内容に関する実施概要の三つ目、対象者の下にファシリテーターがワークショップを進行するとあります。
- このファシリテーターという方が非常に重要なキーマンといいますか、打ち解けた雰囲気では発言できるレイアウトや内容を工夫するということで、大変重要な役を担うのではないかとと思うのです。
- このファシリテーターとなり得る方というのが、もう既に決まっていて、お願いすることになっているのかどうかというのを聞き取れなかったもので、それが一つ確認です。
- また、なかなかまだ申込みも少ないということなのですが、活用資料の中に、ワークシートは、イメージとしてここに書いてあるのですけれども、地区別カルテで、網形成計画の中にある内容があれば、例示して教えてもらえればと思います。
- 地区別カルテがどのようなものなのか、配布資料がなければ、このような感じというのを口頭で結構ですので、お話をいただければと思います。

【事務局】

- ファシリテーターでございますが、市民協働ファシリテーターという制度がございまして、白井市には、あらかじめファシリテーターの研修を受けていただいた市民の方の登録制度というのがございます。
- 今回は、各会場にそちらのファシリテーターさんの派遣をお願いしておりまして、当日はボランティアで対応していただける予定となっております。

【事務局】

- 地区別カルテにつきましては、白井市さんの基礎的状況、人口、自家用車保有率などといったデータと、今回お取りしている市民アンケート結果、これを地区別に示しまして、皆さんが住まわれている地域の状況というのを御理解いただいた上で、ワークに挑んでもらおうといったような基礎資料になります。

【委員】

- ありがとうございます。十分分かりました。
- 地区別カルテとワークシートということで御説明がありました。
- お住まいになっている方ですから、長く住まわれていれば白井のことは十分分かっていると思いますが、マクロに見るようなお話をすると、転入者にお渡しする地図に、交通を書いた部分があるので、そのようなものを一緒に配布されたらどうかということを意見として述べさせていただきます。

【議長】

- ありがとうございます。
- この地区別カルテというのは、地区ごとに会場に用意しておくものですか。
-

【事務局】

- 地区別カルテにつきましては、御参加いただく皆様に配布させていただく予定であります。
- ワーク自体が、地域の皆さんがどういう状況なのかというのを御理解いただいた上で、今、交通空白というところもテーマとして上がっておりますので、交通事業者や行政に頼りきらない地域交通というところで、地域の皆さんがどういったところをできるのかというのをアウトプットとして出していくような調査となっております。
- そのため、カルテにつきましては、皆さん、個人個人にお配りする予定です。

【議長】

- ありがとうございました。
- 次に、協議事項に入ります。こちらは、事務局からの説明と質疑応答の後、承認・不承認について御決定をいただくことになりますのでよろしくお願いします。
- それでは、協議事項「本市における地域公共交通の課題の整理」事務局から説明をお願いします。

協議事項 本市における地域公共交通の課題の整理

【事務局】

- 資料4「本市における地域公共交通の課題の整理」をご覧ください。
- 本協議事項につきましては、本市の現状等を踏まえまして、地域公共交通の課題を抽出し、それらを整理して、地域公共交通計画において解決すべき課題として位置付けるものとなります。
- それでは、表面の「1 市の現状等から見た課題の抽出」をご覧ください。
- ここでは、市勢の現状、地域公共交通の現状、上位・関連計画、また先ほどご説明しました市民アンケート及び関係機関ヒアリングの結果から、特に考慮すべき事項を抜き出しております。
- まず市勢の現状について、人口は平成30年をピークに減少に転じ、今後も今後も微減が続く見込みです。
- 高齢化率は千葉県平均を上回る28.9%で、一部地区では30%を超えています。
- 人口は概ねニュータウン地区、富士地区、西白井地区に集積していますが、北部には白井工業団地を有しております。
- 次に地域公共交通の現状ですが、鉄道は北総線が都心と成田空港を結んでおり市内には白井

駅と西白井駅が立地しています。

- 令和4年には通学定期等の大幅な運賃値下げが実施され、学生等の利用が増えています。
- バスは路線バス2社とコミュニティバスが運行しています。路線の撤退や減便もあり、利用者が減少している路線もあります。
- タクシーは市内には主要2社があります。他に福祉有償運送、介護タクシーを数社が運行しています。
- 上位・関連計画としましては、現在策定中の白井市第6次総合計画では、今後10年間の重要なテーマの1つに「移動・交通手段の充実」を挙げ、「地域の実情に即しながら、誰もが気軽に移動できる手段を確保していくことを定めています。
- また、地域公共交通計画の直接の上位計画となる、都市マスタープランにおいては、これも改定中ではございますが、「拠点、交流の場をつなげたり、アクセスしやすくする移動手段や、地域公共交通サービスの整備」を位置付けていく予定となっています。
- その下、第9期高齢者福祉計画は、上位計画ではありませんが、移動に支援が必要な人への外出支援事業として、福祉有償運送の充実や福祉タクシーの利用助成等を位置づけています。
- 実態把握調査の結果については、先程お話ししたとおりですが、ここでは、アンケートからは、市民の移動手段は、自家用車の利用が最も多いこと、通学・通勤先は市外、日常の買い物や通院先は市内が多いこと、バスの利用頻度が低いこと等を挙げています。
- また、関係機関ヒアリングでは、まちづくりと交通施策の連携が求められていること、一部バス路線で利用者が極端に減少していること、運転士不足が慢性化していること、デマンド型交通導入の提案があったこと、工業団地へのバス便が少ないこと、コミュニティバスの日祝日運行の要望があること、高齢者からはドアtoドアのサービスを求められることが多いこと、障がいのある方はバリアフリー化や合理的配慮への要望が大きいこと、今後の駅前再整備等を睨み市内の回遊性を高めたいこと、地域活力による新たな交通が求められること、若い世代にアピールする施策が求められることなどを挙げています。
- これらの現状等を考慮しまして、市としましては、地域公共交通を取り巻く課題として、右下の囲みにある5項目を提案させていただきます。
- 1つめは「高齢化の進展に伴う高齢者等の暮らしを支える移動手段の確保」
- 2つめは「通学・通勤需要に対応した学生や従業者等の移動手段の確保」
- 3つめは「交通結節点の機能強化や交通機関の長所を生かした組み合わせによる公共交通ネットワークの再構築」
- 4つめは「持続可能な公共交通に向けた利用意識の醸成及び地域の活力を生かした新たな移動手段の導入検討」
- 5つめは「移住定住促進や交流人口の拡大に向けた来訪者等の二次交通の整備」となります。
- 次に、これらの課題認識についての詳細を御説明しますので裏面をご覧ください。

- まず、課題1につきましては、本市の高齢化率は上昇傾向にあり、今後もさらに高齢化が進行していくことが予想されることから、高齢者が自家用車を手放したり、運転免許を返納した後も、安心して、住み慣れた地域で暮らしていくことができる移動手段の確保が必要と考えるものです。
- また、障がいのある人の就労や社会参加を促進する上でも、バリアフリー化や合理的配慮の推進と合わせて、自家用車がなくても移動できる手段の確保が必要と考えるものです。
- 次に、課題2につきましては、本市は都心や成田空港へのアクセスが良く、鉄道を利用して市外へ通勤通学する人も多いことから、今後も円滑な通学・通勤ルートを確保し、若い世代等に訴求する本市の魅力にしていくことが必要と考えるものです。
- また、本市は千葉県内陸部で最大規模となる白井工業団地を有していますが、鉄道駅からは遠く離れています。工業団地の競争力確保のために、自家用車だけに頼らない通勤手段を確保することが必要と考えるものです。
- 次に、課題3につきましては、市の玄関口である白井駅と西白井駅は、市内と市外を結ぶ主要な移動経路として利用されていますが、両駅周辺には乗換時に立ち寄れる店舗等の集積が少なく、一部タクシー乗り場が未整備であるなどの課題もあります。
- このため、今後の駅前再整備と合わせて、交通結節点としての機能強化が必要と考えるものです。
- また、路線バスやコミュニティバスにおいては、極端に利用が少ない便や停留所があるなど、需給のミスマッチが一部に生じています。
- このため、デマンド型なども視野に入れた各交通機関の相互連携によって、利用しやすく、かつ効率的な市内公共交通の再構築が必要と考えるものです。
- 次に、課題4につきましては、地域公共交通を真に持続可能なものとするためには、モビリティマネジメントとも呼ばれますが、地域公共交通を利用していく意識の醸成を図り、自家用車の利用を前提としたライフスタイルの緩和を目指していくとともに、効果的な情報発信や、利用するためのきっかけづくりが必要と考えるものです。
- また、交通事業者を取り巻く共通の課題として人手不足があり、今後は交通事業者が提供するサービスのみで地域公共交通を維持していくことは困難であると予想されますので、地域が主体となる新たな交通手段をはじめ、様々な分野との連携による、地域の実情に応じた移動手段を検討することが重要と考えるものです。
- 最後に、課題5につきましては、地域の活力を保持するための移住定住促進や交流人口の拡大に向けて、商用やレジャーなどの目的で市内を訪れる人が、施設等による送迎がない場合でも鉄道駅から移動できる二次交通の確保が必要であり、またその二次交通の整備に当たっては、既存の交通機関のみならず、それらを補完し、市民も含めて気軽に利用できる移動手段の検討が必要と考えるものです。

- 協議事項の説明は以上となります。
- 繰り返になりますが、これらは地域公共交通計画において解決すべき課題として位置付けていくものになります。このため、次回以降の会議でご審議をいただく計画の方針や目標は、今回整理する課題を前提として提案させていただくものとなりますので、御審議のほど、よろしくお願いいたします。

【議長】

- ただいまの事務局からの説明につきまして、ご不明な点や確認したいこと、ご意見等がございましたらお願いします。

【副会長】

- 課題認識について、異論はなく、そのとおりだと思っております。
- ぜひ今後、これをどういうふうに、どんな手段を用いて解決していくかというところについて、市の内部で検討をし、より一歩踏み出した状態で検討いただけるとありがたいというのが私のコメントでございます。
- 具体的には、ナッシー号で何とかするというところだけではなく、他の市の事例を見ますと、タクシーチケット等の条件に依拠しての配布などがございます。
- それから先ほどのアンケートのほうでも、利用の御意向について伺ったところもありましたが、A Iの利用有無も含めたオンデマンド型の交通サービスといったものを導入する場合というのもございます。
- また、バスサービスについても、本当にコミュニティバスの一般的なやり方でやるだけではなく、バス会社さんに対して、幾らかの支援金を出すことによって、黒字運行ができるようにするといったような方法もあります。
- その中で、そういうことをする条件として、何往復か必ず走らせてほしいとか、そういうことを事前に調整をして、協定書等を結んでやっていくようなこともあり、実に幾つか方法はあります。
- ただ、どんな方法を使うにしても、市からの支出が増えないと、サービスレベルの抜本的な改善がなかなか望めないというところがあるかと思いますので、ぜひ、そういったところについて、予算を少し多めに確保していただくなど、選択肢を増やしていただけると、いろいろできるところが増えてくるのではないかと思います。
- また、公共交通のネットワークづくりというのは、バスとかタクシーの路線づくりだけではないです。

- 例えば、これまでもずっと公共交通の結設点の整備についても、前回の計画でもかなり強く出したところではあったのですが、十分できていないということで、先ほど評価をさせていただいたのですけれども、白井駅や西白井駅というところについても、利用に際して問題がないかどうか、あった場合には、もう少し改善するような方法などについても検討できるとよいのではないかと考えております。
- もう1点、仮に市のほうでお金が出たとして、運転士不足というのが全国的な傾向として広がっておりまして、お金はあるけれども、あるいは車両はあるけれども、運転してくださる方がいらっしゃらないといったことも問題として上がっているところでございます。
- 運転士の確保についても、これはなかなか難しい問題でして、一つの市役所だけで解決できるわけではありませんが、それでも取組を少しずつ進めている事例もあろうかと思いますので、こういったあたりにも少し視野を広げて、具体的な方策を検討いただけるとありがたいと考える次第です。よろしくお願いいたします。

【議長】

- ありがとうございました。
- ナッシー号だけではなくて、いろいろな交通手段も検討することや、交通結節点の問題と運転手不足、採用の難しさといったものについての御指摘でした。
- ほかに何かありますでしょうか。

【委員】

- こちら課題の認識ということ、今日は委員全員で認識し合うというか、再確認し合うということによろしいですかというところが1点。
- また、本日、認識を同一にしてというところになるかと思うのですが、そこから課題が結構重いと思います。
- 後これらに対する課題の対応策というところについて、スケジュール感でいうと、今年度中に計画案をまとめるというような予定になっているのでしょうか。
- 今後のスケジュールの確認を2点目とさせていただきたいと思いますが、よろしくお願いいたします。

【事務局】

- 御指摘のとおり、今日この場で課題という形で整理させていただいて、これを踏まえた上で、次回以降、御決定をいただいた上で方針や目的など、取組の提案をさせていただくということになります。
- 現行の地域公共交通網形成計画は、今年度で終了いたします。
- 地域公共交通計画は、今年度策定をしていく必要がございます。

- この後、その他のところで、次回以降の会議の予定について御説明させていただきますが、10月をめどに3か月ほどの間で、計画に盛り込む方針や目標の主だったところは、市のほうで案を考えさせていただいて、提案をさせていただければと考えております。
- この後3回の会議を通しまして、遅くとも3月までには計画を確定させるということで考えております。

【議長】

- よろしいでしょうか。ほかにも何かございましたら。

【委員】

- これは意見と質問なのですが、資料4表面の地域公共交通の現状というところで、3行目にバスに関する記述がございます。
- 「バス交通は民間路線バス2社とコミュニティバス（ナッシー号）が運行しているが」、この先、太い黒字で「路線の撤退や減便もあり、路線によっては利用者が減少している」と記載があります。
- この撤退や減便だけではなくて、ライフスタイルの変化や住まわれている方の偏在といった、様々な要因によって、バスの利用者が減っているという現状もございます。
- 路線の撤退や減便によって、利用者が減少しているような表現にも取られるようにも思われるので、ここも表現については、バス事業者ともよく調整を図っていただいて、この計画策定に生かしていただければというのが、まず1点目でございます。
- 次に、裏面の課題認識の解説ということで、課題3「交通結節点の機能強化や交通機関の長所を生かした組み合わせによる公共交通ネットワークの再構築」の部分です。
- 2つ目の項目で、「路線バスやコミュニティバスには」という書き出しがございます。
- こちらに修飾する形で、「極端に利用が少ない便や停留所があるなど」と記載があります。
- 確かに利用が少ない便や停留場があることは事実ですが、ここで「需給のミスマッチ」という言葉がその後にあります。
- 一般路線バスについては、利用者の動向を踏まえ、減便などの調整を図りながら進めるのですが、ある程度コミュニティバスというのは、一般路線バスではなかなか成立しない細い道を小型のバスで行くといったことをしております。
- その中で、利用者が少ないのも前提に、需給のミスマッチという言葉で一括りにすると、ナッシー号自体を減便させるといったことにも取られかねない可能性もあります。
- デマンドを入れたいということで、このミスマッチという言葉を使ったのかと思うのですが、少し限定的に記載したほうがいいのではないかと思います。
- ナッシー号はナッシー号として続けていくというのは、今までの計画でも聞いておりますので、少し御検討いただきたいということが、2点目の意見でございます。

- その他、課題4「持続可能な公共交通に向けた利用意識の醸成及び地域の活力を生かした新たな移動手段の導入検討」で、2つ目チェックの2行目に「地域が主体となる新たな交通手段」と記載があります。
- 書き出しについて、地域が主体となる新たな交通手段とは何かと考えたときに、市役所、もしくはバス事業者、あるいは、輸送サービスを提供している者以外、例えば、市民の方や企業とかいろいろなケースがあると思いますが、地域が主体といった際に、どれが含まれるのかという部分が曖昧になっていると思われます。
- 併せて、利用意識の醸成ということについて、誰の利用意識を醸成するのかという部分が分からないままだと、結論がなかなか出ないのではないかと思います。
- 最終的には、この協議会の中で議論して決めるにしても、次回ぐらいに、利用意識の醸成する対象がどのくらいかということ、地域の主体の中に修飾語を少し入れておいていただいたほうが、委員の方の理解も深まるのではないかと思いますので、御検討いただきたい。
- これが「様々な分野との連携」と書いてあるのですけれども、ここにつながってまいりますので、少し地域の主体になるという部分は、修飾語を少し入れて、議論できるようなものに御検討いただければありがたいというのが3点目でございます。
- 課題5「移住定住促進や交流人口の拡大に向けた来訪者等の二次交通の整備」についてです。
- 今回、白井市でも、地域公共交通活性化再生に関する法律に基づいて、これから地域公共交通計画を策定します。
- 先ほどの議題でもあった地域公共交通網形成計画というのは、その前の取組でつくっているわけですが、比べて大きく何が違うかというと、住んでいらっしゃる方だけでなく、外から来る方も使うことによって、公共交通の成立ということを図ります。
- 自治体によっては、例えば観光協会なども委員になったりする地域もございます。
- この移住定住促進に関する拡大に向けて、「商用・レジャー等の目的」という書き出しなのですが、あえて観光という言葉を使わなかったのは、何かございますか。
- 観光でいらっしゃる方も、バスや鉄道も使うと思いますので、たった二つの観光というキーワードなのですけれども、なぜ入っていないのかなと思いました。
- 書いてある内容はまさに観光ということだと思うので、今後はそういう部分も新しい情報を仕入れて、よりよい計画に持っていければいいと思いますので、御検討いただきたいです。

【議長】

- ありがとうございます。御意見、御指摘に対して、事務局からありますでしょうか。

【事務局】

- 最初の地域公共交通の現状の中の路線の撤退や減便もありというところが限定されているような形に見えるというところにつきましては、御指摘のとおりかと思しますので、この後、外部バス会社様と御相談させていただいて、今後考えていければというふうに思います。
- 裏面に行きまして、課題3の需給のミスマッチという部分です。
- 確かにコミュニティバスは、福祉的な要素といいますか、少なくとも基礎的な交通手段ですので、お客さんが少ないから、すぐにどうなるというものではないかと思います。
- ここの書き方についても、本日、方向性について御決議をいただけるのであれば、具体的な文言については考えさせていただいて、次回の会議で御報告させていただくなどができればと思っております。
- それから、課題4ですけれども、地域が主体となる新たな交通手段、こちらについては、最近様々な手段、新しい種の交通手段が提案されているところではあると思います。
- 例えば松戸市のように、地域の方が主体となってグリーンスローモビリティを運行するというようなところもありますし、あるいは限界ニュータウンのようになってしまったところで、住民の方が自家用車を工面し合って、買い物や通院の足を確保しているといったような事例もございます。
- そういったもののイメージではございますが、確かにこちらだけだと分かりづらいところはあるかもしれませんので、適切な表現ができるかというところを考えられればと思います。
- 課題5の商用・レジャー等のところについて、残念ではありますけれども、なかなか白井市は、観光資源というのは今まであまりないというふうには見られておりました。
- 一方で、市民プールあるいは運動公園、こういったスポーツ施設などは人気があるようなところもあります。
- そこを意識して、ここではレジャーという言葉で選ばせていただきましたが、確かに観光に力を入れていきたいという思い、発展させていきたいという方向性を持っておりますので、ここは例えば、これに観光も加えるなど、表現のほうは工夫していければというふうに思います。

【委員】

- 最後の部分は、今まさに外国の方もたくさんいらっしゃって、観光という部分の定義が、例えば富士山に行くとか、決まったものを見に行くという観光から、だいぶ観光の定義自体が広がってきています。
- 例えば白井市ですと、梨が採れるときは、近隣から梨を狩りに来るとか、様々な地域の資源というもののや、外国の方もかなりいらしていることもあるので、観光という概念は少し変わりつつありますので、御検討いただければありがたいと思っています。

【議長】

- ありがとうございました。ほかにも何か御意見、御質問等ございましたらお願いいたします。

【委員】

- 課題を5点挙げていらっしゃるのですけれども、スケジュールといいますか、解決までにかかなり時間がかかるのかなという感じがしております。
- 短期的な課題解決と、長い目で見た課題解決と、2本柱で進めていただけたらなと思っています。
- 特に課題2になりますと、10年後を考えますと、通勤通学者というのは、人数などもかなり変わってくるのかなと思いますので、短期的な解決手段も別途考えていただければなと思います。

【議長】

- ありがとうございました。ほかにも何か御質問、御意見等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。
- それでは、この件、協議事項でありますので、決を採らせていただきたいと思います。
- 先ほど皆様から、様々御指摘、御意見を頂いております。
- 例えば今後、表現をいろいろ見直す、あるいは、少し補足をしたほうがいいのかといった御意見もございましたが、この五つ設定しました課題の案につきましては、概ね御了承いただけたのかなとは思っております。
- また、先ほど裏面についても、いろいろ御意見頂きましたが、こちらについては、課題認識の解説ということで、今後の考え方、協議の進め方につきましては、皆様からいろいろ御指摘、御意見頂いたことを十分に踏まえまして進めていきたいと思っておりますので、まずは今日の課題の案ということで、決を採らせていただきたいと思います。
- 皆様、御承認いただけるようでありましたら、挙手をお願いしたいと思います。

〔賛成者多数〕

【議長】

- ありがとうございます。賛成多数ということで、案のとおり決定させていただきます。
- 次に「その他」について、事務局から何かありますか。

【事務局】

- それでは、今後の予定について御説明します。資料5を御覧ください。
はじめに会議等についてです。

- ・ 次回以降の会議につきましては、あくまで現時点の予定ですが、(1) から (3) のとおり考えております。
- ・ 次回会議につきましては、10月上旬頃を予定しております。
- ・ 今年度はあと3回で計画的に策定を進めていく必要がございますので、次回以降の会議につきましては、できれば、このあと一括して日程調整を行わせていただければと存じております。
- ・ また、(4) の「地域公共交通研修会」につきましては、主に本市職員を対象とするものですが、委員の皆様も、御都合が許しましたら是非御参加いただければと存じております。
- ・ 主題は、「地域のモビリティ確保について」ということで、地域における総合的な交通体系の整備に向けて、国の関連施策の方向性を踏まえながら、地域のモビリティ確保に向けた取組事例を交えた講演を予定しております。
- ・ 講師として、国土交通省総合政策局の伊藤専門調査官に起こしいただく予定です。
- ・ 期日は7月30日 水曜日の午前10時30分から、本市役所にて行います。
- ・ 御参加いただけます方は、恐れ入りますが、準備の都合上 7月28日（月）までに事務局までお知らせいただきたくお願い申し上げます。なお、委員御本人様以外の方でも御参加いただけます。
- ・ 次に、2ページ目を御覧ください。「上位・関連計画との整合性確保について」ということで、地域公共交通計画の上位計画及び主な関連計画について、交通関係部分の主な内容と、今年度改定中の計画についてはそのスケジュールを御参考として示しております。
- ・ 今後、地域公共交通計画の策定作業を進めるに当たりましては、上位計画の改定作業の進捗状況をこまめに確認するとともに、こちらの策定状況についても随時各担当部署に情報提供することにより、方針・目標・取組内容等の整合を確保してまいります。
- ・ また、関連計画となる高齢者福祉計画及び障害者計画についても、上位計画と同様に情報共有を行い、基本的な方向性を揃えるとともに、取扱分野の適切な分担を図ることとしてまいりたいと考えております。
- ・ 最後に、前回の会議で、「ほんとうに住みやすい白井を本当にする会」の皆様から、七次台地区におけるグリーンスローモビリティ実証実験の計画を御発表いただきましたが、その最新の計画書をいただきましたので、追加資料として共有させていただきます。
- ・ 本日は時間も限られておりますので、詳しくはのちほど資料を御覧いただければと存じますが、本年11月の公道での実験を目指して、現在、印西警察署その他関係機関との調整を進められております。
- ・ 今後につきましても、また改めて御紹介させていただければと存じます。

【議長】

- ・ 今、説明があったこと以外にも、何かございましたらお願いします。

【委員】

- せっかくの機会でございますので、注意喚起というところで1点。
- 御存じの方もいらっしゃるかと思うのですが、この4月、5月、6月と、3か月連続で、東京都内のあるバス会社さんが、バスの終点后、確認不足でお客さんをそのまま乗せて、車庫でバス車内に閉じ込めてしまったという、お客様取り残し事案というのが発生しております。
- バス会社さんのことは、注意喚起というところはもちろんのことなのですが、こういった事案というのは、真夏になってくると非常に危険な命に関わるような事案になります。
- 今日、コミュニティバスを担っている市の交通担当の方々はもちろんのことなのですが、あと市民の方々も、例えばバスに乗って、終点で寝込んでいる方とかがいちゃったら、こういう時代ですので、なかなか声がけするというのは難しいかもしれませんが、バスの運転士さんに、寝ている人がいますよとか声がけいただくと助かるかなと思います。

【議長】

- ありがとうございます。大切な注意喚起かと思います。他にありませんでしょうか。
- それでは、事務局に進行をお返しします。

【事務局】

- 本日御就任いただいた方も含めまして、現行の委員任期は本年10月4日までで一旦終了することとなっております。
- 現行の任期における会議は今回が最後となる予定です。委員の皆様のこれまでの御協力に、改めて深く御礼を申し上げます。
- 今回は、計画の策定途中での任期終了となってしまいますので、できれば全ての委員の皆様に来期の再任をお願いしたいところではございますが、市民公募委員につきましては、任期満了に伴い新たに公募を行う必要がございますので、宇田川委員と船本委員におかれましては、10月4日をもって退任されます。
- また、徳永委員に置かれましては、10月4日をもって退任されます
- 宇田川様、船本様、徳永様におかれましては、これまでの会議等への御協力、誠にありがとうございました。
- そのほかの皆様におかれましては、是非、来期についても委員の御継続を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。
- 次回以降の会議は、新しいメンバーで審議を続けてまいります。メンバーが変わりましても、今日までにいただいた御意見をきちんと踏まえ、審議の連続性を保ちながら計画策定を進めてまいりますので、退任となる方におかれましても、その点は御安心いただくとともに、引き続き本協議会をお見守りいただき、御指導・御鞭撻をいただければ幸いです。

- 最後に、本日初めて出席された方もいらっしゃいますので、委員報酬についてご説明いたします。
- 本日の会議の委員報酬及び旅費につきましては、予め辞退の御連絡をいただいている行政機関等の方を除きまして、1か月以内に、御指定の口座に振り込ませていただきます。
- なお、振込額につきましては所得税源泉徴収額を差し引いた額となりますので御了承ください。
- お振込みに当たりましては、改めての通知等は差し上げておりませんので、恐れ入りますが、通帳への記帳等で御確認くださいようお願いいたします。
- それでは、令和7年度第1回白井市地域公共交通活性化協議会を閉会いたします。長い時間の御審議、誠にありがとうございました。